

平成 28 年度 第 2 回環境マネジメントシステム改善委員会議事録

日 時 : 平成 28 年 7 月 26 日(火) 10:15~11:30

場 所 : 本部棟 5 階 大会議室

出席者 : 松浦 晃幸委員長, 巢山 弘介, 石川 健, 塚田 真也, 大島 朗伸 (中務明委員代理), 田中 秀和, 西村 浩二, 土屋 健一 (鈴木 修二委員代理), 福田 孝寿 (門城 祐司委員代理), 川尻 秀行, 山根 充司 (為石 勝美委員代理), 塩田 芳夫, 周藤 義男, 小木曾 博幸, 齊藤 夢美 (村上 響太委員代理), 力石 利久 (小池 誠委員代理), 中村 展明 (安達 知弘委員代理), 小泉 祥子

陪 席 : 長廻 佳穂里, 金本 瞳, 青戸 準

事 務 : 渡部博之, 百合澤 彰, 安立 陽子, 木村千寿子

確認事項 :

○松江キャンパス環境マネジメントシステム改善委員会委員名簿 (平成 28 年度)

委員長より, 委員会開催に先立ち平成 28 年 4 月 1 日から新たに委員に就任した者について, 名簿順に紹介があった。

○平成 28 年度第 1 回 EMS 改善委員会議事録の確認

委員長より, 事務から予め送付していた議事録 (案) について, 22 日までに特に意見等はなかった旨の報告があり, 改めて意見の有無について確認されたが, 特に意見はなく原案どおり議事録を確定した。

議 題 :

1. 平成 27 年度における各部局等実施内容等報告書に基づく評価結果原案について

委員長より, 各部局等から平成 27 年度に取り組んだ活動に対する報告書の提出があり, 内容について専門委員会で確認し, 評価結果原案の作成をした旨説明があった。

評価結果原案について, 巢山専門委員会委員長より, 評価の考え方として, 活動の成果ではなく, 項目ごとに P-D-C-A サイクルが回っているかどうか, 翌年度へのイメージがあるかを判断基準としたこと, この評価結果原案が部局に対して拘束力を持つものではない旨を述べられた後, 資料に基づき評価内容の説明がされた。

委員長より, 本来であれば各部局等実施内容等報告書が 4 月 15 日提出締切だったため, 5 月末日に各部局へ評価結果を通知しなければならないが, 報告書の全ての提出を終えたのが 5 月 30 日であり, 大幅に予定が遅れているため, 本委員会です承が得られれば, 速やかに各部局へ通知を行う旨説明され, 意義なく承認された。

2. 「環境報告書 2016」の作成について

事務より, 現在の進捗状況について資料に基づき説明を行った。

委員長より, トピックスについては, 事務局から「第一食堂の改修」「環境寺子屋の活動を広く市民に広報する」について提案した。また, この他に候補があれば提案いただきたい旨述べられたが, 特に提案がなかったため, 事務局の提案のとおり承認された。また, トピックスについては, 該当の部局について原稿作成依頼も行った。

委員長より、第三者評価については、本年度は外部委員の小泉委員へ執筆依頼があり承諾いただいた。

塩田委員より、環境報告書のダイジェスト版の印刷数を削減する予定（5,500部から3,500部）とあるが、残部が多かったのはなぜかとの意見があり、事務より当初配布予定としていたなかに後援会保護者会等の配布数を見込んでいたが、見込み数より大幅に配布数が少なかったためと説明し、委員長より有効活用する場があれば活用していくようにする旨説明された。

また、「ビビッとあーとコンテスト」について応募の状況についての質問があり、学生 EMS 委員の小木曾委員より、応募総数は昨年度の 1/3 に減った。原因は広報がうまくいかなかったため来年は改善していく。応募者はリピーターも多いが 1 年生も応募している旨の説明があった。

3. キャンパス内の環境美化について

委員長より、昨年 11 月に本委員会に対し、部局等 EMS 体制の長から飲食に伴うごみ問題について申し入れがあった。内容は適切な場所へのごみ箱設置の要望であり、これを受け、各部局等及び中国四国地区国立大学に対し照会を行った旨の説明がされた。

照会結果の概要について、事務より説明を行った。

田中委員より、建物の立地的に学食よりコンビニ等が近いため、建物内で食事をする学生が多い、ごみ箱がないため、処分に困ったごみを講義室やコンビニに捨てる。近隣に迷惑をかけないことも大学の責任として考えていかなければならない。また、ごみ以外にも近隣のコンビニへの自転車放置や除草などの環境美化も考えていく必要がある旨の意見が出された。

塩田委員より、リサイクルセンターには個別に分別してゴミ袋にまとめたものしか出せないため、個別にごみを捨てようと思っても捨てる場所がない。適切な場所へのごみ箱設置は必要との意見が出された。

委員長より、学生 EMS 委員へ意見が求められ、齊藤委員より、学生によって持ち帰る学生と教室内に置いていく学生がいる。各学部のひとつはあっても良いと思うとの意見が出され、また、小木曾委員より、ごみ箱の設置しなくなった経緯はどのようなことだったのか聞きたいとの質問に巢山委員より、当時、ごみ問題を考えた際に、そもそもごみを出さないライフスタイルへ転換しようと思いついてごみ箱をなくした旨の説明がされた。

委員長より、ごみ箱の設置について試験的に設置してみてもどうか。部局に持ち帰って環境美化に繋がるかどうか検討し、設置してみたい部局は事務局へ相談願いたい旨説明された。

報告事項 :

1. 平成 28 年度各部局等の活動計画について

委員長より、本年度の各部局等の EMS 実施内容（計画）が提出されたので、一覧にまとめた旨が述べられた。計画された内容について取り組んでいただくよう説明がされた。なお、変更があれば、事務局へ報告していただくよう依頼があった。

2. 学生 EMS 委員会委員の委嘱について

委員長より、本年度の学生 EMS 委員会委員は、資料のとおり活動の意思表示をした 24 名の学生に委嘱することが述べられた。このうち、8 名について委嘱状の交付式を去る 6 月 15 日に行い、他の 16 名については、後日学生 EMS 委員を通じて委嘱状を交付した旨の説明がされた。

3. 学生 EMS 委員会の活動計画について

委員長より、本年度の学生 EMS 委員会の活動計画について、昨年度に引き続き「緑のカーテン」の企画書が提出されたので、詳細について学生委員より説明いただくと述べられた。

小木曾委員より、資料に基づき、緑のカーテンについて、目的、設置時期、設置場所等について、学内で飼育している羊の堆肥を混合した培養土を用い、生育等を比較するとの報告があった。

また、このほか、11 月開催の松江市環境フェスティバルへの出展、12 月開催のしまね大交流会への出展及び 3 月に放置自転車の撤去を実施することも報告があった。

4. EMS ニュースの発行について

事務より、学生 EMS 委員会と事務局が共同で作成・発行している EMS ニュースについて、5 月発行の EMS ニュースを紹介し、今月も発行予定との報告があった。

5. その他

- ・田中委員より放置自転車について、收拾後、どうされているのか質問があった。

事務より、盗難車の有無を確認し、回収から 3 ヶ月経過した後廃棄処分としている旨説明した。

- ・田中委員より、松江市のリサイクルステーションが学内にも設置されているが、大学と松江市の設置の違いは何かとの質問があった。これについては、後日調べて回答することとなった。